

令和6年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(商標)

株式会社サタケ

代表取締役社長 松本 和久

企業概要

<https://www.satake-japan.co.jp/>

所在地：広島県東広島市西条西本町2-30

創業：1896年(明治29年)

資本金：280百万円

従業員：1,245人

事業概要：食品産業総合機械、プラント設備及び食品の製造販売

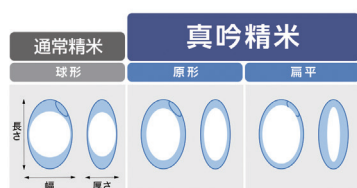


受賞のポイント

- ①コーポレートブランド、事業ブランド、商品ブランドの3つの体系で、商標を活用したブランド戦略を展開。コーポレートブランド「SATAKE」は、他社との差別化を目的に81か国で商標登録され、「世界中お米のあるところに“サタケ”がある」ことを印象付け。積極的な海外進出に加え、法人経営体の増加等の環境変化に応じて事業を展開。高耐久ブランド「SAXES(サクセス)」や、東南アジアの中規模精米プラント向け精米設備「REACH」など、顧客層や対象地域に応じた事業ブランドを商標登録し、きめ細かなブランド戦略を推進。
- ②卸業者と協力し、自社の無洗米製造設備で加工した無洗米の包装袋に商標「あらうまい」を記載するなど、包装袋を宣伝媒体として活用するブランド戦略も実施。日本酒において理想的とされていた扁平精米・原形精米を可能とする新型醸造精米機を開発。この精米方法に係る精米機、技術、米、日本酒の総称を「真吟」と命名し、関連する登録商標を酒蔵等は無償使用許諾することで、日本酒の消費拡大と業界の活性化に貢献。
- ③知財部門は新商品開発の初期段階から会議体に参加するとともに、営業・広報部門と連携して商標出願を推進。

SATAKE

コーポレートブランド



「真吟」



高耐久ブランド「SAXES」
(左から穀物用すり機、乾燥機、光選別機)